

| | |
|-----------------------------------|---|
| 研究課題名 | メチシリン感性黄色ブドウ球菌菌血症におけるセファゾリンとセフトリアキソンまたはタゾバクタム/ピペラシリンの臨床効果に関する後方視的検討 |
| 試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法） | メチシリン感性黄色ブドウ球菌（MSSA）菌血症の世界的な標準治療薬として、抗ブドウ球菌ペニシリンとセファゾリンがあります。しかし、抗ブドウ球菌ペニシリンは日本では流通しておらず、また、セファゾリンがより広い菌種に効果を示す抗菌薬（広域抗菌薬）よりも MSSA の治療において優れているかどうかの情報は十分ではありません。さらに、広域抗菌薬の乱用は耐性菌感染症のリスクとなります。そのため、この研究でセファゾリンと広域抗菌薬（セフトリアキソン、タゾバクタム/ピペラシリン）の有効性を比較することは、今後の MSSA 感染症治療の薬剤選択の際に役立つと考えました。 本研究は研究分担者に下記の項目の情報を提供します。データはパスワードをかけた電子ファイルで送付します。 |
| 研究対象者 | 2010 年 1 月～2022 年 12 月の間にベルランド総合病院で採取した血液培養からメチシリン感性黄色ブドウ球菌が検出され、血液培養最終結果報告後 48 時間までにセファゾリン、セフトリアキソン、タゾバクタム/ピペラシリンのいずれかが投与された方 |
| 利用又は提供する試料・情報の項目 | 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月（年齢）、性別、身長、体重、併存疾患、使用薬剤の種類・用量・投与期間、採血検査結果、入院日、死亡日（該当する場合）、入院期間、血液培養の検査提出日と検査結果および結果報告日、感染症名、心エコー検査の有無、埋め込み型人工物の有無、集中治療室入室の有無、外科的処置の有無、感染制御チーム介入の有無 |
| 研究予定期間 | 機関の長の実施許可日 ～ 2028 年 12 月 31 日 |
| 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名 | ベルランド総合病院 病院長 片岡 亨 |
| 試料・情報の取得方法 | 通常診療の過程で得られます |
| 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者及び利用する者の範囲 | ご提供いただいた情報は、以下の機関が利用します 【研究代表者】 ベルランド総合病院 薬剤部 竹内 祐介 【研究分担者】 ベルランド総合病院 薬剤部 石田 茂伸、多胡 友絵、星 育子 クオリティ管理センター 山田 加代子 中央検査部 川村 真代 心臓病センター 南村 弘佳 【共同研究機関】 泉大津急性期メディカルセンター 薬剤部 小泉 祐一 大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学/大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科 井本 和紀 |

| | |
|-------------------------------|---|
| | 大阪医科薬科大学病院 薬剤部 山田 智之 |
| 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は機関の名称 | ベルランド総合病院 |
| 研究に協力したくない場合 | 研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。 |
| 利益相反について | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問合せ先 | ベルランド総合病院 薬剤部 竹内 祐介 メールアドレス : y_takeuchi@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL : 072-234-2001 (代) |